

浄土宗方便山善立寺

香こうれん蓮

2020 Winter

特集 echo[㊦]

おのれこそおのれのあるじ

善立寺先代住職 故・小路観山上人の言葉より

令和2年

No. 15



浄土宗 きほんのき

始め

① 十念の唱え方

「南無阿弥陀仏」と十遍唱えるのが十念！
浄土宗の法曹では、
お坊さんも参列者も一緒にお唱えするの
で、ぜひご確認ください！

ポイント！

9唱目だけ「つ」まで発音します

ポイント！

10唱目はゆっくり唱えます

終わり

なむあみだぶつ
なむあみだぶ

9

10

5
なむあみだぶ

6
なむあみだぶ

7
なむあみだぶ

8
なむあみだぶ

息つき

1
なむあみだぶ

2
なむあみだぶ

3
なむあみだぶ

4
なむあみだぶ

息つき

ポイント！

4唱目、8唱目を終えたところで、
一度息つきしましょう！

②お数珠のかけ方

宗派によってお数珠のかけ方は異なります。

浄土宗は親指にかけるのが特徴です！

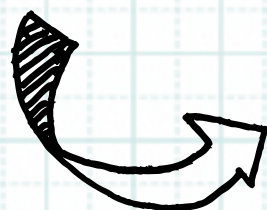
3. 完成！



1. 左手親指に数珠をかける



2. 右手親指を下から差し込む



おのれこそ おのれのあるじ

善立寺第二十六世
故・小路観山上人の言葉より



故・小路観山（こうじ かんざん）

大正 14 年生まれ
幼少期より信州新町玉泉寺で生活
戦時中は中国に派兵
復員後、松本市和田の観音寺住職に
昭和 52 年、御縁をいただき善立寺住職に。
平成 19 年退任、平成 25 年遷化



昭和 52 年住職辞令伝達・寺格昇格式にて

今回は、平成二十五年に遷化された善立寺先代住職、小路観山上人が遺された言葉を紹介いたします。

この言葉は、昭和六十三年に松本浄土宗青年会発行の機関紙「月影」に寄稿されたものです。今年、月影記念号発行のため、現副住職が過去の記事の調査を行った際、見つけたものです。

善立寺先代住職であった小路観山上人は幼い頃に両親を亡くされ、身寄りのない子どもたちを引

き取られていた信州新町玉泉寺ぎよんぜいじで多くの子どもたちと共に生活されました。

その後、松本市和田の観音寺住職に。その後、ご縁をいただき、昭和五十二年、善立寺住職になりました。

長年、善立寺の護寺発展に務められ、平成十九年、現住職小路祥永上人に善立寺を託し、平成二十五年、老衰により享年八十九歳でご遷化されました。

【小路観山上人の寄稿より】

自己反省

善立寺住職 小路観山

数え年七歳で信州新町の寺に入門し、その日から般若心経や舍利札文など短いお経を口うつしに教えていただき、日常自分たちが使っている言葉とは全く違うとも思わず、安易に漢文の棒読みを身につけて、出家得度をして修業道場に入るまでには大方の経を読む事が出来る様になっていた。

然し師匠が時折、お経の内容や説明や、お釈迦様の話をして下さるのですが、たとえそれがどんな楽しい話でも、幼い私には何の關係のない様に思っておりまして。普通は、他人の姿は見えても自分の姿は見えないものである。例えば、自分で自分の欠点がわかっていても、それを他人から指摘されるとあまり気分のいいものではありません。

他人の邪田を観るなかれ

の一句、これぞ自分の姿だと思います。ある言葉に

「他人の過失は見やすく、おのがとは見がたし」

人に出家の目的を問われても結局は自己本位を主張する人間になっていた。

お釈迦様は、国王とか財産とか妻などでは満足出来ず出家されました。

生きているという事は誰かに借りをつくる事

生きていくという事はその借りを返してゆく事

人は一人では生きてゆけない。考えてみますとあんなったら幸せ、こうなったら幸せと私達凡人が考えている中身というものは、皆私達の持物ばかりです。年と共に持ちかえてゆく持物であり着替えてゆく衣装にすぎない

のです。

財も名誉も妻子もいざという時は全部置いてゆかなければならぬもののばかり。

いざという時悉く脱ぎ捨てていかねばならないものばかりです。

昔も今も少しも人間の生きる姿そのものは変わっていません。

いや、むしろ物が豊かすぎる現代の方が、いっそう人心は貧困になっているかもしれません。

人間は貧すれば必ず何かにすがり求めるものです。ある宗教を信じ熱烈に信仰する事は良いが、病気になるとか、また死人が出るとか脅迫されての宗教では正しい宗教ではありません。

運・不運いづれにあって、そこに堂々と自己の座りをもつ事こそ澄浄とされるのです。この事をよく心に留めておかねければなりません。

「良く生きるとは今は良くないと気のつく事だ」

と言う言葉がありますが、ひた

むきな求道の姿というものはここにあると思います。

誠の教えに従って生きる事が、大切な事です。

無限に軌道修正をさせていただきながら歩む人生こそ大切な事でしょう。

おのれこそおのれのあるじ
おのれこそおのれのよるべ
さればまことの商侶あきうどの
よき馬をととのうるがごとく
おのれをととのえよ

【法句經】

昭和六十三年発行
松本浄土宗青年会会報『月影』より



平成 18 年晋山式にて。
左・現住職 右・観山上人

法然上人の御法語より

（ずいじゅんぶつぎょう）
随順仏教（

問

念仏をして極楽に行けるなら、
悪いことをしても構いませんか？

答

善き地に善き種を蒔^まかんがごとし

「念仏をして往生できるので、
らそれで充分だ」と言つて、悪
いことはばかることなく、持
つべき慈悲の心をもたず、念
仏にも励まないとすれば、仏の
教えに反しています。

例えば、父母の慈愛は、良い
子も悪い子も慈しみますが、良
い子については喜び、悪い子に
ついては嘆くようなものです。

仏はあらゆる衆生を哀れん
で、善人も悪人もお救いになり
ますが、善人を見ては喜び、悪
人を見ては悲しまれるのです。
良い畑に良い種を蒔くような
ものです。是非とも善人となり、
その上で念仏を修めなさい。こ
れを真に仏の教えに従う者とい
うのであります。

（法然上人御法語集より）

お知らせ

永代供養塔のご案内



◆ 皆様の安心のために ◆

善立寺永代供養塔が平成 30 年に完成いたしました。

完成以来、多くのご相談をいただいております。当山のお檀家からのご紹介を受けていらっしゃる方が多く、皆様

「相談できてよかった。これから安心して過ごせます」と晴れやかな顔でお帰りになっていただいております。

善立寺永代供養塔は、春・秋彼岸・お盆の年 3 回、追善法要を行うなど、手厚いご供養を行っております。

詳細については善立寺まで気軽にお問い合わせください。

ご親戚・お知り合いでお墓についてお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください
お問い合わせ先 / 善立寺：0263-53-2645

長野教区浄土宗青年会 台風19号災害ボランティア活動



作業先の長野市 欣浄寺様



屋内の清掃作業



清掃作業後。溜まった汚泥を排出



汚れが落ちづらく、作業後はドロドロに

令和元年（2019）年、10月12日に上陸した台風19号により、長野県北東部は甚大な被害に遭いました。

長野県内の浄土宗青年僧が加盟する長野教区浄土宗青年会では、発生当初より迅速な情報共有を行い、連日にわたり災害ボランティア活動が行われておりました。

会員の私、副住職も先日遅かれながら、長野市内のご寺院での作業に参加させていただきました。

長野市は私にとって信州大学・大学院在学中、5年間過ごした思い出の地でもあり、現場に向かう道すがら見た千曲川河川敷の惨状には言葉を失いました。

ボランティア派遣先の^{ごんじょうじ}欣浄寺様では床上浸水した住居部分の汚泥除去・清掃を行いました。

水を含んだ泥は非常に重く、土のうに入れ運んでいくだけでも重労働でした。

また、屋内の泥汚れを落とすためには高圧洗浄機などの機械が必要にもなり、電源の確保や漏電の危険性など、作業中も気を使うことが多かったです。

今回、実際に現地での活動をさせていただくことで、水害の恐ろしさや復旧の大変さなどを身をもって実感しました。また、清掃作業は、機械以外に人的支援が重要であり、ボランティアの方々の活動が今も求められています。

当山では今後も継続的に支援を続けてまいります。また、私が今回のようなボランティア活動を続けられるのも、日頃から善立寺を支えていただいている檀信徒の皆様のご支援によるものです。ありがとうございました。今後も私たちにできることを精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく願いいたします。

副住職



③台風 19 号ボランティア



②山岳遭難者慰霊法要



①盆施餓鬼法要 法話瑠璃光寺関恒明上人



④薬師・観音祭 ヤボンスキーこばやし画伯

令和元年下半年の活動

盆施餓鬼法要

7月28日、当山最大の年中法要、盆施餓鬼法要を執り行いました。施餓鬼法要は『救拔焰口餓鬼陀羅尼經』を由来として、その名の通り、餓鬼に施しを行い救い、その功德をご先祖様に振り向ける法要です。今年も大勢の檀信徒の皆様にご参列いただき、盛大に執り行うことができました。ありがとうございました。（写真①）

また、毎年法話をお願いし、当山の皆様にも馴染み深い三郷瑠璃光寺の関恒明上人が10月に晋山され、御住職になられました。（写真②）

山岳遭難者慰霊法要

10月10日、上高地の遭難者慰霊碑にて山岳遭難者慰霊法要を執り行いました。慰霊碑には多くの飲み物やお花などがお供えされており、その数だけ遭難された方がいらつしやるという現実が胸が痛みました。中信仏青では毎年秋、この法要を行っております。（写真③）

長野教区浄土宗青年会

台風19号ボランティア活動

10月12日に発生した台風19号

による千曲川氾濫により、北信地区の寺院も甚大な被害を受けました。長野教区浄土宗青年会では支援活動を行っておりです。（写真④）※詳細は7ページをご覧ください

薬師・観音祭

11月2日、毎年恒例の薬師・観音祭を行いました。今年は長野朝日放送で土曜朝放送の「ザ・駅前テレビ」でおなじみ、ヤボンスキーこばやし画伯によるお絵かき教室を行いました。お絵かきを通してコミュニケーションとして、ドラえもんやアンパンマンの描き方など、皆様お楽しみくださいました。（写真⑤）

その他

・永代供養塔総回法要

善立寺永代供養塔では春秋彼岸・盆の年3回、収められている全霊位の追善法要を行っております。

・社会貢献活動

・おてらおやつクラブ活動
いただいたお供えを必要とする方々にお送りする活動

・NPO法人ジャーダック

病気のこどもたちに医療用ウィッグを無償で提供する活動

2020年の回忌法要早見表

1周忌	令和元年(2019)没
3回忌	平成30年(2018)没
7回忌	平成26年(2014)没
13回忌	平成20年(2008)没
17回忌	平成16年(2004)没
23回忌	平成10年(1998)没

※休日は混み合いますので、お早めにご相談下さい。

編集後記

今回は日頃からご質問が多い、お念仏の唱え方、お数珠のかけ方を再編集して掲載いたしました。皆さまからの声がこの寺報の支えとなっています。

また紙面に載りきらない情報は公式サイトにて随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。

副住職

公式サイト
QRコード



善立寺公式サイト: <https://zenryuji-jodo.com>

令和2年1月1日

発行所 方便山善立寺 塩尻市広丘野村793-1

電話 0263-53-2645 発行・編集・善立寺